

石川数学塾が贈る「数学必要人」へのアドバイス…

是非くまなくお読み下さい。
私達の指導ポリシーをご理解
いただけると思います。

FOR高校生		
<p>「国立理系志望!数学は嫌いじゃないけれど、受験目ざして、さらにPOWER UPしたい」君へ</p> <p>① 他人のアイデアや解法パターンをしょうずに自分のモノにすることを心がける。(まがりなりにも高校数学という種物がある程度自分のモノにできている人たちは、多少なりとも、「自分で考え、自分で見つけ、楽しむ」的な感覚が身につけている人達だと判断します。ところが、偏差値70レベルを80レベルに引き上げるとき、この感覚は成程なことに強力なエンジンであると同時にブレーキの役目も果たすことが、往々にしてあります。すなわち、あまり自分のやり方にこだわらずに受け入れてください。広い視野で物事をとらえ雑慮に人から学ぶ姿勢を忘れないことです。)</p> <p>② 解法パターンや自分の公式、定理、目のつけどころ等をノートに箇条書きにまとめて、それを意識して記憶する。(こうやってパターンや公式を覚えるのは、きちんと自分で考える訓練を充分積んだあとにやるべきです。偏差値60以下の方は、パターンをあまり意識しないこと。)</p> <p>③ 減点されない答案の書き方を訓練する。</p> <p>④ 思考力もさることながら知的忍耐力(5時間位平気で集中して考え続けられる)も鍛える。</p>	<p>「国立大文学系志望!数学さえUPすれば志望校はランクアップするのに…」君へ</p> <p>① 「自分の力で考え抜く」という基本訓練を地道に続ける。(1問ごと最低でも15分位は必死で考えてみる。そして解答を読むときも、紙とペンを實際につかっ、自分なりにその解法をきちんと再現してみる。)</p> <p>② 解き方が十分に詳しく書いてある参考書(例えばチャート等)と答えしか書いていない問題集(例えば、スタンダード、オリジナル)の両方を必ず並行して使う。</p> <p>③ 参考書からは、式変形の細部を学ぶのではなく、「発想のしかた」や「着眼のポイント」を学ぶように意識すること。</p> <p>④ 毎日やること。(できない日は、たとえ10分でもよいとにかく必ず毎日数学をやる。)</p> <p>⑤ わからなかった問題は、最低3回はくり返し、くり返し、問題を覚えるまでやる。</p>	<p>「数学はとにかくニガテ!なんとかしてよー!」の君へ</p> <p>① 数学をあきらめるには、まだ早すぎる!熱意さえ維持すれば必ず何とかなる!!とにかく、何が何でも毎日1時間は机に向かう習慣をつくらう。</p> <p>② 解法がやたらにくわしく書かれた参考書を購入して、解法をどこまで理解・納得するまで読み、そのあとで自分の手で再現し、記憶する。これを地道にくり返す。</p> <p>③ 現時点では、数学が大のニガテではあるけれど、本気で、腰を決めて、数学を勉強して何がなんでも自分のモノにする!!という決意があるならば、中学の教科書からやり直してみるのも、とても有効な方法です。「自分にも解ける問題がある!!」と気づけることが、はじめのうちは、とても大切。教科書には、それがあります。1日3時間、毎日欠かさず3ヶ月間頑張り通せば、大きな光が、必ず見えてくる!!</p>
FOR中学生		
<p>「私立中学に通っていて、授業が進むのが早く大変!」君へ</p> <p>① 徹底して復習を心がけること。(できなかった問題をチェックしておいて最低でも2・3回はくり返しその問題をやることです。)</p> <p>② 自分で問題集を購入する際は、「解答」ができるだけ充実しているものを選ぶことがコツです。できれば別冊に解答集がつくられていて、本文と同じ位置にボリュームのあるものがベスト。数学の問題集は問題集を買うのではなく、解答集を買うのだと思って下さい。</p> <p>③ 学校で使うワークを徹底してやりこますこと。テスト直前までには最低2回は取り組むこと。間違えた問題は3回やり直そう。</p>	<p>「公立高校志望!数学イヤだけど、中間・期末はしっかりしなきゃ…」と考える君へ</p> <p>① 毎日、数学の勉強をすること忙しい日はたとえ15分でもよいので、何が何でも毎日やること。</p> <p>② パターンや公式を覚えこもうとせず、完全に納得できるまで、充分に考えること。(いったん納得できた場合は、ひとりで記憶され、忘れるように忘れることができます。納得する際に、「オハスゴイ!これすばらしいんだ!」的なびびくりした気持ちを作ることができれば、絶対長期間、印象深く覚えていられます。)</p> <p>③ やみくもに難しい問題集には手を出さない。それより中レベルの問題集をくり返し、くり返し何度もやる方がよい。基本を大切に!</p> <p>④ あきらめずに考え続ける、熱意を持って必死で考え続ける。熱意は脳を動かす最大のドライビング・フォースです!</p>	<p>「数学は得意!目標は国立有名大学!」と今から考えている君へ</p> <p>① 中学数学3年分の標準内容(やみくもに難しい問題は全く不要!)をサクッと終わらせることです。そして高校の内容にできるだけ早期に手をつけることです。(なぜなら、高校数学の必修は、たやすくありません。ですからできるだけ長い期間、高校数学のトレーニングをつねに成功のポイントなのです。又、中学数学の難問を解く能力と高校数学の難問を解く能力では、使う能力や数学的道具がまるっきり異なります。ですから、あまり中学数学の難問を、中学の範囲の道具で解く訓練をしても、大学入試に役立つとは、とても思えないからです。)</p> <p>② 12~15歳の頃はあまりパターンや公式を覚えようと思わず、自分流にあれこれ行儀して、考えることを楽しむトレーニングをつむむ方が、将来必ずつなげられます!!思考力さえ充分に鍛えておけば、受験問題のパターン暗記位、朝飯前です!断言します!</p>
FOR小学生		
<p>「有名私立中学合格!」が目標の君へ</p> <p>① 「〇〇算」はこの解法、「$\times\times$算」はこの解法といった、いわゆるパターン別解法は、本質を理解せずに丸暗記するだけでは、いくら覚えても実戦には無意味!</p> <p>② 計算力をバカにしない毎日計算訓練を続ける。</p> <p>③ できるだけ低学年のうちから思考力を鍛える訓練をやり続けること。自力でいっしょうけんめい考えること。</p> <p>④ 融通のきく、良い解法をきちんと身に付けること。(これには、良いテキストと、良い指導者が不可欠です。)</p>	<p>「学校の授業をしっかりとマスターしたい」君へ</p> <p>① 毎日、算数の問題を解くこと。</p> <p>② できなかった問題をチェックしておいて、くり返し何度も何度も、その問題を解くこと。</p> <p>③ 少しでも納得できなかつたら、勇気をふるいおこして「先生、わかりません!」と言うべし。わからないことは、恥ではない!教える者が悪い! 断言できます。</p> <p>④ 難しい問題にぶちあたっても、さげすみいっしょうけんめい考えて、解けるように心掛けること。</p>	<p>「中学受験するかどうかはわからないけど、算数っておもしろそう!もっと楽しい算数をどんどん教えて!」という君へ</p> <p>① 算数の問題に限らず、世の中の色々な物事について、いっしょうけんめいに考えること。(熱中して、集中して、あきらめず長い時間考え続ける。考えることを楽しむ。イメージをいっぱいもちて色々なことを空想して、気分がひたひたながら考えることです。)</p> <p>② 本をいっぱい読むこと。</p> <p>③ パズル遊びをすること。</p> <p>④ 「〇〇算」のやり方など覚え、方程式の原理を理解すること。</p>

中学受験「算数・理科」完全フォローアップコース

対象

中学受験の算数や理科の勉強に使用しているテキストやプリントが消化不良状態になっており、困っておられる方。
それらのテキストやプリントを持ち込んで解説を希望される方。

もし君が、つつい周りのペースに惑わされて、いつのまにか、自分自身の学習のリズムを見失ってしまい、算数が嫌いになりかけていたり、又は、既に今現在わからなくなっているならば、早急に合理的な対応策を練る必要があります!当塾がある改善のキーワードは「いたってシンプル、次の通りです:『今だからこそ、あせらず、ひとずつ、きちんとちゃんと納得してから次に進む!』たいていの場合、理数系科目のつまずきの原因は、

①十分理解、納得しきれていないまま次に進む ②定着のための反復が十分になされていないまま次に進む

の二つに起因すると断言できます。そしてそれらを防ぐには「わかった!と思わせてくれるよくわかる指導者」「君のレベルに合わせて、捨てるべき問題と、徹底的にこだわるべき問題を的確に見分ける指導」が不可欠です。これらはひとえに経験がモノを言います。当塾の指導者にはそれがあります。

結局数学(算数)が得意になる秘訣は次のように要約できます。

①はじめの段階はスキルを学ぶことを必要以上に重んじない!先を急ぎすぎない、その子なりの独自のやり方でよいので自力で考え、そして解けた喜びを身体感させることを最重点におく、スキルではなく熱意と好奇心を育てることを重んじる。スキルはそれがあれば、あとから勝手にくっついてきます。はじめにスキルを習うのは百害あって一利なしです!

②イメージ、情感、右脳の非言語感覚、パズルの・記号的発想といったものを、論理性と同等級以上に尊重し訓練する。(論理でひらめくものではありません!まずはじめにイメージ、二オイ、うしろにない雰囲気、インスピレーションがあって人はひらめき、問題が解けるのです!)

③いたずらに問題の数を追いつけない、質こそ命。

④かなりレベルが高くなって自分の脳を自分で動かせるようになってきたら、今までは逆に他者のアイデアをいっぱい吸い込む。(よい意味でのまねる=まねぶ=まねぶ ※これが学ぶの語源)この段階では、アイデアの消化・吸収力がかなり身につけているので、おもしろいように他者のアイデアをまねることができず。この段階は徹底的に(経験値)を追い求めるのがよいでしょう。

⑤再び質に戻り、学んだアイデアを完全に自分のものに同化すべく、じっくりと一問一問を自力で解いてゆく。

☆そしてそのための手助けを行うのが当塾の役目というわけですが、実際のやり方で、勉強を続けた結果、例えば兵庫県にある全国屈指の難関高校に通っていた、はじめ数学があまり得意ではなかったある青年は、努力を重ね、高3の夏には早大予備校主催の全国トップクラスの成績をとる迄に成長してくれました。また、中3から遅い始めた女子は、中3の3学期の学年末テストで100点をとれるまでに成長しています。また、小6のはじめ偏差値的には20くらい足りなかったHくんは、必死でその1年を頑張るとおし見事にその志望中学に合格し、その後もその中学で平均以上の成績をキープしています。彼ら、彼女らをはじめ、ぶつうの少年・少女でした。しかし自分でも「こを考えると運動を学んだときから、私たちが目を見張る程に進歩してゆきました……」当塾には彼らと同様のすばらしい伸び率で成長している生徒たちが数多く生まれています。君も勇気を奮い立たせて最初の扉を開いてみませんか。そして、私たち石川数学塾大阪のスタッフたちと、すばらしい知的体験を経験してみませんか!?

最後に…

私たちの教室には本当に色々な年齢の様々な個性を持った子供達が通っています。今こそ学習塾の常識となりつつある個別指導や、とり級指導、それとは逆のステップアップ指導等は数学を専門指導するうえで、随分当初から全くあたりまえの概念でした。なぜならそういう指導方式でなければ百人百様の数学の解法(数学は答えはひとつですが、そこにたどり着く道のプロセスは全く個人、個人の個性が出ます。)をきっちりと差別化することすらできないからです。私達は個人個人の実力や目標に応じて、又学年や年齢のワケにと

らわれることもなくその子に合った最善の指導ペースを常に意識しています。だから当塾の子供達はみんな本当にこのびび学んでいき、数学を楽しんでくれています。全国トップの成績をとった数々の子供達にも同様の悲しさもありません。越えられない壁にぶつきたときは彼らでも2年も3年もステップアップしたりしますし、小学生で高3の理数系の数学遊びと通じあわせてマスターしてしまいうケースもあります。集中してやるために自ら立った未だ勉強しだす生徒さんいます。そんな自由で個性的な石川数学塾大阪をあなただけの一度のぞきにきて下さい……。

石川数学塾 大阪